

令和5年度官民共創プロジェクトマッチング支援事業の実績について

1 事業趣旨について

次期山形県地域公共交通計画の策定に着手するに当たり、地域内での官民連携をより一層深め、課題や悩みを共有しながら、今後の地域公共交通のあり方を検討していくことが重要。

このため、協議会及び地域別部会において、次期計画策定を見据え、地域における地域公共交通のニーズや課題を適切に把握するとともに、課題把握手法の習得や、市町村担当者の悩み事の解決、来年度以降の取組みの支援をするための市町村担当者向け勉強会を実施。

2 事業の実施について

公益財団法人東北活性化研究センターとの共催で下記のとおり実施。

(1) 第1回：地域公共交通勉強会

日 時：令和6年1月30日（火）14:30～

開 催：オンライン

参 加：70名（バス事業者、東北運輸局山形運輸支局職員、市町村担当職員、
県総合支庁連携支援室職員等）

内 容：①事例発表

・株式会社バイタルリード（長野県辰野町）

「AI オンデマンド配車システム「TAKUZO」を活用したオンデマ
ンド乗合タクシー事業」

・長野県松本市

「エリア一括協定運行事業」

②パネルディスカッション

(2) 第2回：地域別部会ワークショップ

	日時	場所	参加	内容
村山	令和6年3月7日(木) 9:00～	村山総合支庁講堂	16名 (市町村担当職員等)	ワークショップ (SWOT分析の 個人ワーク・グ ループ共有、グ ループごとの ネクストアク ション共有)
最上	令和6年2月29日(木) 13:30～	最上総合支庁講堂	11名 (市町村担当職員等)	
置賜	令和6年2月28日(水) 13:30～	置賜総合支庁講堂	11名 (市町村担当職員等)	
庄内	令和6年2月15日(火) 13:30～	庄内総合支庁41号会議室	5名 (市町村担当職員)	

3 地域別部会ワークショップ参加者アンケートの結果について（概要）

- 回答数：33名
- ワークショップに参加して業務に活かせるような学びや気づきがあったか？
 - ①あった：30名
 - ②どちらでもない：2名
 - ③特になかった：1名
- どのような学びがあったか？
 - ・他自治体との課題や取り組みが共有できた
 - ・地域の現状に合わせて何を理想の姿にするべきかしっかりと目標を設定する必要があると学んだ
- ワークショップの内容を踏まえて来年度取り組みたいことは？
 - ・各公共交通の役割の再確認及び見直し点の検討
 - ・他自治体の公共交通との広域連携、意見交換
- 活性研や山形県への要望
 - ・自治体ごとの取り組みや疑問点を深掘する時間を多く設けてほしい

- ・他自治体の担当者同士が情報交換できる場を引き続き設けてもらいたい
- ・全国の公共交通の取り組み事例（先進事例、自動運転、ライドシェアなど）などを紹介してもらいたい